

# NEWS RELEASE

報道関係各位

2023年12月8日

## 【国内の安全で利便性の高い公衆向け Wi-Fi 環境の導入を支援】 Wireless Broadband Alliance に参画、OpenRoaming に対応 - 当社の対応無線 LAN アクセスポイントとの接続検証を実施 -

アライドテレスिस株式会社（本社 東京都品川区、代表取締役社長 サチエ オオシマ）は、国際的な公衆無線 LAN 接続基盤、OpenRoaming の開発と導入を推進する団体 Wireless Broadband Alliance（WBA）に参画し、さらに当社製 Wi-Fi 6 対応無線 LAN アクセスポイント 4 製品において Passpoint 機能を搭載し OpenRoaming に対応したことをお知らせします。加えて、今回の搭載機能について効果を確認するため、札幌学院大学（北海道江別市、学長 河西邦人）の協力を得て、接続検証を実施しました。



### ■1つのIDで世界中の公衆 Wi-Fi に安全に接続可能な OpenRoaming の利便性

「OpenRoaming」は WBA（Wireless Broadband Alliance）が開発した Wi-Fi 相互接続基盤で、世界中に 350 万を超えるホットスポットに導入されています<sup>(※1)</sup>。スマートフォンなどのワイヤレス端末にアプリケーションをインストールすることで、多くの場合無料で利用でき、その利便性の高さから国内外で本技術を活用した公衆向けの Wi-Fi ネットワークの導入が進んでいます。

利用方法は簡単で、OpenRoaming に参加している事業者のプロファイル（認証情報と事業者の情報が含まれた設定ファイル）を端末にインストールすれば、SSID を問わず自動的に対応した Wi-Fi ネットワークに接続され、ログインの手間が発生しません。また、OpenRoaming 基盤では、RadSec<sup>(※2)</sup> を採用し高い安全性を確保できます。他にも、本技術に対応した無線 LAN アクセスポイント (AP) にのみ自動的に接続されるため、なりすまし AP へ誤って接続したことによるウイルス感染やデータ搾取などの被害を防ぐことが可能です。

このように利便性と安全性が高い OpenRoaming は、日本国内において、カフェ、レストラン、病院の待合室、イベント会場、空港や主要駅、バスや電車の車内、大学キャンパスや観光案内所など、主に公衆に向けたさまざまな場所での利用が期待され、さらなる普及が見込まれています。

#### OpenRoaming 基盤を活用した公衆 Wi-Fi 環境のメリット

- |  |
|--|
| ・ 初回に ID を設定すれば、その後は自動接続するため再度の操作不要で利用できる  |
| ・ 端末と AP 間で暗号化された安全な通信を提供                  |
| ・ ID アカウントによる認証接続のため、なりすまし AP への接続を防ぐことが可能 |
| ・ 無料で利用が可能                                 |

OpenRoaming を用いるには、無線 LAN アクセスポイントが、Wi-Fi 技術の標準化を推進する業界団体である Wi-Fi Alliance<sup>(※3)</sup> で認定された Passpoint 機能に対応している必要があります。この機能はクライアントが公衆向けの Wi-Fi エリアに安全でスムーズに接続可能とする仕組みです。

### ■Passpoint 搭載、Wi-Fi 6 対応の無線 LAN アクセスポイントで高速無線 LAN 接続を実現

当社は公衆 Wi-Fi 環境の導入推進を支援するため、2023 年より国内初<sup>(※4)</sup> のハードウェアベンダーとして WBA に参画しました。Wi-Fi 6 対応無線 LAN アクセスポイント「AT-TQ6702 GEN2」「AT-TQ6602 GEN2」「AT-TQm6702 GEN2」「AT-TQm6602 GEN2」に Passpoint 機能を搭載し、Wi-Fi Alliance の認証を取得しています。

### ■公衆向けの Wi-Fi を模した環境で実証実験を実施

今回当社は、上記 4 製品が OpenRoaming/Passpoint に対応したことを契機に、札幌学院大学の協力を得、同校の敷地およびネットワーク環境を利用し、当社無線 LAN アクセスポイントにて、OpenRoaming に対応した Wi-Fi サービスを適切に提供できることの検証を実施しました。

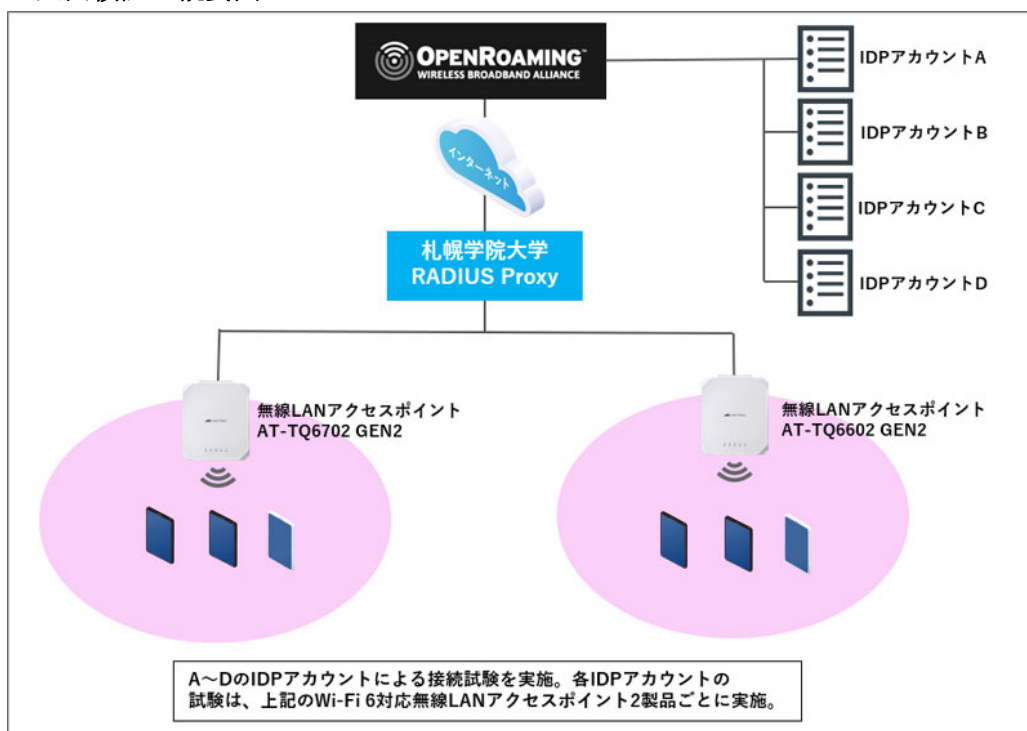
#### 【接続検証の結果】

本検証により、当社製 Passpoint 搭載の無線 LAN アクセスポイントを利用した OpenRoaming 環境で、各 IDP<sup>(※5)</sup> アカウント認証を利用し、無線 LAN 通信を利用できることを確認しました。また、無線 LAN アクセスポイントの Wi-Fi 6 という特性を活かすことで、大容量・高速通信の OpenRoaming に対応した Wi-Fi 環境の提供が可能となります。

#### 【接続検証の概要】

札幌学院大学が提供する OpenRoaming 基盤に当社のアクセスポイント「AT-TQ6702 GEN2」「AT-TQ6602 GEN2」で構成された無線 LAN 環境を構築し、接続検証を実施するスマートフォンには、事前に数種類の IDP アカウントをインストール。スマートフォンから各 IDP アカウントの認証により Wi-Fi 接続が適切にできるかの検証をアクセスポイント 2 製品毎に実施しました。

#### <共同検証の概要図>



## ■Passpoint 対応無線 LAN アクセスポイント

### ・AT-TQ6702 GEN2、AT-TQ6602 GEN2、AT-TQm6702 GEN2、AT-TQm6602 GEN2

Wi-Fi 6 (IEEE 802.11ax) 対応、2.4GHz 帯と 5GHz 帯の同時使用が可能な 2 ラジオ搭載の無線 LAN アクセスポイントです。AT-TQ6702 GEN2 および AT-TQm6702 GEN2 は 8×8 ストリームに対応し最大 4.8Gbps、AT-TQ6602 GEN2 および AT-TQm6602 GEN2 は 4×4 ストリームに対応し最大 2.4Gbps の大容量・高速通信が可能です。

各種無線 LAN アクセスポイントの詳細はこちらからご確認いただけます。  
<https://www.allied-telesis.co.jp/products/list/wireless/#wireless1>



当社は、今後も安定した無線 LAN を必要とするお客様へ快適な利用環境を提供するため、さまざまなデバイスとの相互接続性の検証を実施してまいります。

## ■Wireless Broadband Alliance (WBA) について

ワイヤレス・エコシステムにおいて、Wi-Fi を介しシームレスで相互運用可能なサービスを推進することを目的として 2003 年に設立された国際的な団体です。加盟企業や組織と協力し、世界のどこでも安全で自動的に Wi-Fi 接続を可能とする公衆 Wi-Fi 基盤 OpenRoaming を開発し、その推進と運用を行っています。

所在地…5000 Executive Parkway, Suite 302, San Ramon, CA 94583 USA

URL…<https://wballiance.com/>

<https://wballiance.com/openroaming/>



## ■札幌学院大学について

札幌学院大学は、「自律」「人権」「共生」「協働」の理念のもと、豊かな人間性を涵養し、深く専門的学術を教授、研究することによって広く人類社会の福祉に献身し得る人材を育成することを目的としています。

4 学部 7 学科、3 研究科から構成される文系総合大学として幅広い教養教育と深い専門教育を行うことで、21 世紀を担う人づくりを行う。

住所…北海道江別市文京台 11 番地

創立…1946 年

代表者…学長 河西 邦人

URL…<https://www.sgu.ac.jp/>



※1 Wireless Broadband Alliance の 2023 年 6 月統計結果より。

※2 RadSec は、TLS 上で RADIUS データを転送するプロトコル。PKI (Public Key Infrastructure) と組み合わせられ、TLS セッションのセキュリティを自動化します。

※3 Wi-Fi Alliance…無線通信テクノロジーの 1 つである Wi-Fi の普及促進を図ることを目的に相互接続性試験の策定や製品認証を行う業界団体。

※4 国内初という記述は当社調べによるものです。(2023 年 7 月現在)

※5 IDP…ID プロバイダーの略。クラウドサービスにユーザーの認証情報を保管・管理・提供するシステムサービス。

注) 記載されている商品またはサービスの名称等はアライドテレシスホールディングス株式会社、アライドテレシス株式会社およびグループ各社、ならびに第三者や各社の商標または登録商標です。

注) 記載されている内容、サービス/製品の価格、仕様、お問い合わせ先、その他の情報は発表時点の情報です。その後予告なしに変更となる場合があります。また、記載されている計画、目標などはさまざまなリスクおよび不確実な事実により、実際の結果が予測と異なる場合もあります。あらかじめご了承ください。

<<ニュースリリースに関するお問い合わせ先>>

アライドテレシス株式会社 マーケティングコミュニケーション部

TEL : 03-5437-6042 E-Mail : [pr\\_mktg@allied-telesis.co.jp](mailto:pr_mktg@allied-telesis.co.jp)

アライドテレシス株式会社 東京都品川区西五反田 7-21-11 第 2TOC ビル

<https://www.allied-telesis.co.jp>